一般社団法人宮崎県理学療法士会　第21回拡大理事会議事録

１．　　理事会の種類　第21回拡大理事会
１．召集年月日　　平成27年2月16日（月）
１．開催場所　　宮崎リハビリテーション学院
１．開催日時　　平成27年2月28日（土）　午後15時～
１．出席者　　理事：7名（委任状7名）　中田、吉田、小川、湯地、井上、猪倉、渡部
局長：2名（委任状1名）田村、柚木
部長：10名（委任状10名）田上、坂本、矢野、大寺、伊藤、平島、吉良、村上、花田、福永
事務局：2名　　児玉、髙月

定刻に至り、児玉事務局長より定足数の報告後、定款第36条１項に基づき理事会成立の旨の説明あり、中田会長の挨拶の後審議に入る。

【審議事項】
■第1号議案：提出議題について
①田村局長による提出議題の学術局長の選任について議論された。中田会長より田村局長をこのまま部長に戻すより学術局は膨大な役割があるので、補佐する体制にするのはどうか検討してほしいと提案された。新たな局長として、基礎研究部会部長の貴嶋氏が選任され、満場一致により承認された。
湯地理事より学術誌を作成しているところだが、学術局内で新たに学術編纂部を設立していきたいと提案された。野崎東病院の落合氏に部長をお願いしているところ。学術局内で再度検討することに決議された。
②西諸ブロックの村上部長より部長交代について説明がなされた。
西諸ブロック部長は任期制を導入されており、後任としてすこやかｾﾝﾀｰこばやしの前原氏が選任された。任期制ということはブロックで決められたことだが、他のブロックとの統合性がない。連続性が問題になってくるので、今後ブロック長会等で検討すること。ブロック長の交代については、満場一致で決議された。
③柚木ブロック局長よりブロックにおける研修会企画について説明がなされた。
ブロック内で専門部会と類似した研修会や重複した研修会を行ってよいものか会員に問われた。専門部会とブロック部会と話し合い等を持たないと複雑になる。お互いの立場を考慮して、どのように進めたらよいか。中田会長よりブロックは地域事業に行い、学術が研修会を行うことがよいのではないかと提案された。全く同じ内容の研修会は避けた方がよい。学術局とブロック局と連絡・連携をとり、調整していくことで決議された。
④柚木ブロック部長よりブロック部長会議に伴う出張費の扱いについて説明がなされた。

総括局より会議時の会議費・旅費交通費を支給しているが宿泊費は各ブロックにおいて様々であった。次年度より宿泊費を総括局で統一管理してはどうだろうか。中田会長より必要経費は予算で上げていただけばよいのではと提案された。予算に組み込むことで満場一致により決議された。
⑤保健福祉部会平島部長より来年度事業における士会指定事業の設定について説明がなされた。士会指定事業参加の登録申請を保健福祉部で受け、集計作業を実施しているが、現在日本理学療法士協会での登録システムが完成し、WEB での登録が可能になった。そこで、各部会による研修会を士会指定事業として登録して頂きたいと議題をあげた。推進ﾘｰﾀﾞｰになるには、士会指定事業・e-ﾗｰﾆﾝｸﾞ・必須研修会の取得が必要。全ての学術局の研修会に指定事業にあげてもよいかと議論された。小川理事より推進ﾘｰﾀﾞｰの必須科目に士会指定事業は重きをおいてないのだが、他県でも柔軟にいろんなことを士会指定事業にして活動している。当士会でもできるようにするためにも専門領域の研修会で士会指定事業にすればよいのではと提案された。中田会長より登録してもよいのではとのことで決議された。
⑥職能局医療保険部会日高部長から医療ｾﾝﾀｰ病院の久保氏に部長を交代することが説明された。満場一致により決議された。

■第2号議案：来年度事業計画及び予算案について
児玉事務局長より来年度の予算について説明がなされた。
事務局機能強化により事務局員を常勤化にすることによって人件費があがっている。会員管理の消耗器備品費に新しいシステムを導入する費用をあげている。学術局で学術編纂の予算が組まれており、研究助成費をあげている。小児部よりリーフレット作成に予算が組まれている。3000部作成になっているが、一度議論が必要なのではと猪倉理事より提案がなされた。全体の収支は赤字になっているが、今年度の収支が黒字になっているので、今年度と次年度の収支では黒字になる。
7月12日介護予防キャンペーンを行うので、次年度から地域に還元していくように各ブロックで計画にいれてほしかったと小川理事より提案があったが、会長よりまだ各市町村の動きが定まっていないので、様子を見ながら動いた方がよいのではとまとめられた。
女性部会は組織図上ブロック総括に組み込む。
最終的な予算案は3月の理事会の開催ができないため、書面決裁として、その後、各部長へ配信することが決議された。

【その他・報告事項等】

会長より、宮崎県より宮崎県医療介護推進協議会委員の推薦について報告がなされた。

事務局にて県の方からのヒアリングを受けた。20の団体を県が選定し、県内の医療・介護の推進に向けてのスキームを理解してもらう協議会を設置するにあたり委員要望があった。また、宮崎県ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ研究会の世話人会に出た報告をなされた。
世話人団体を強化する提案の中で宮医大で看護師の健康運動認定士を要請しており県でも承認された。認定単位取得を宮崎県ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ研究会研修会への参加にて受理された。

・PO 合同学会について、5月に会議を開く予定だが、その前に PT 士会で事務局・運営・学術の3部門の組織図人員配置を決めていただければ起動しますとなった。

・花田部長より宮崎県ｷｭｱｹｱﾈｯﾄﾜｰｸの実行委員をしており、地域包括ｹｱに対し、他職種講演会、研修会を開催することになったため、パンフレットを地域連携推進部より FAX 送信してもよいかと提案され、会長より承諾を得た。11月に市民ﾌｫｰﾗﾑの際に協力をお願いすることがあると報告された。

総会の日程予定は5月24日に決定された。

【次回理事会案内】

次回理事会は後日連絡するとした。

議事録署名人として議長及び理事を選出し、午後17時30分に散会した。

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人これに署名（記名押印）する。

印

印